

行政評価シート（事務事業評価）		評価年度	26年度
事業名	家庭児童相談員設置事業	担当課	福祉課
細分化した事業名			

### 1 計画(PLAN):事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	将来を担う子どもをのびのび育むまちづくり	
	政策	子どもを安心して生み、育てられる社会の実現	
	施策	子育て支援の充実	
関連する個別計画等		根拠条例等	韮崎市家庭児童相談員設置規則

### 2 計画(PLAN):事務事業の概要

事業の目的	家庭における適正な児童の養育に関する相談指導を行い、家庭児童福祉の向上を図る。虐待、不登校、発達相談、DV等の相談のほか、母子家庭等の就労支援等その業務は多岐にわたっている。
事業の手段	相談員1名（非常勤嘱託）を子育て支援担当に置き、児童相談所、保健課、教育課等と連携し、家庭、小中学校・幼稚園・保育園等への訪問など行い気になる子どもへの対応を行なう。担当者レベルによる定期ケース会議を開催し、情報共有に務めている。ハローワークと連携し、母子家庭等への就労支援を行う。
事業の対象	0歳～18歳までの子どもを持つ家庭

### 3 実施(DO):投入費用及び従事職員の推移(インプット=費用+作業)

		23年度	24年度	25年度
A	事業費 (千円)	4,501	3,070	3,123
財源内訳	国・県支出金			
	その他(使用料・借入金ほか)			
	一般財源	4,501	3,070	3,123
B	担当職員数(職員E) (人)	0.1	0.1	0.1
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	682	669	650
D	総事業費(A+C) (千円)	5,183	3,739	3,773
主な事業費用の説明	相談員 賃金・共済費等 H23年度は、備品購入・懸垂幕作成あり			

注)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、23年度(6,819千円)、24年度(6,687千円)、25年度(6,491千円)を使用しています。

### 4 実施(DO):事業を数字で分析(アウトプット=事業量)

	指標名	指標の算出方法	実績値		
			23年度	24年度	25年度
活動指標	1 相談者数	相談者数/年	79	58	78
	2 継続相談数	上記のうち継続相談者/年	26	19	35
	3 母子家庭等就労支援	就労支援対象者			11
妥当性		<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 虐待、ネグレクト、不登校(園)、発達相談等の相談を受け、関係機関と連携し適切に措置するよう務めている。			
上記活動指標と妥当性の説明	1				
	2	相談内容が多岐にわたり、かつ複雑な家庭環境等に置かれている母子等が多く、相談を継続すべきケースも少なくないが、場合によっては相談の継続を断るケースもあるため、つながりを欠く事の無いように務めている。			
	3	平成25年度より、ハローワークと連携し母子家庭等の就労について、情報を共有しながら希望する仕事に就けるよう支援に努めている。			

5 評価(CHECK): 事務事業評価 (アウトカム=成果・効果)

	指標名	指標の算出方法	実績値			
			23年度	24年度	25年度	
成果指標 もしくは まちづくり 指標	1	新規相談者率	新規相談者数/相談者数 43人/78人	67%	67%	55%
	2	継続相談者率	継続相談者数/相談者数	33%	33%	45%
	3	就労率	就労者の数/支援者数 8/11			73%
成果		<input type="checkbox"/> A 上がっている <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input type="checkbox"/> C 上がっていない				
上記指標の妥当性と 成果の内容説明	1	相談者のうち6割前後が新規相談者となっている、相談窓口としての役割を果たしていると考えます。				
	2	複雑な家庭環境等に置かれている母子等が多く、相談が途切れた場合などは電話連絡や訪問などを行うが、断られるケースもあり苦慮している。 引続き、つながりを欠く事の無いように務めていきたい。				
	3	昨年7月からハローワークと連携し就労支援を開始したが、11人中8名が就労できたことはある程度の成果であると考えます。				

事務事業総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input checked="" type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input type="checkbox"/> C 期待以下の達成
----------	--

6 改善(ACTION): 今後の事務事業の展開

今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 拡大(コストを集中的に投入する) <input checked="" type="checkbox"/> 一部改善(事務的な改善を実施する) <input type="checkbox"/> 全部改善(内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要) <input type="checkbox"/> 縮小(規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する) <input type="checkbox"/> 廃止(廃止の検討が必要)
事務事業の改善案	改善の概要・方向性(いつまでに、どういう形で具体化するのか)
	26年度の改善計画(今後の事業展開説明) 福祉課内に総合相談窓口を開設したので、障がい児への対応がより充実された。 今後も引続き、関係機関と連携し母子家庭等の相談体制を整え、子育て支援・就労支援を行う。
過去の改善経過	特になし
課長所見	複雑な家庭環境が増え続けており、総合相談窓口と連携する中で引き続き活動する。